

次の100年に向けて

～時をつなぐ 未来をつむぐまち 川越～



川越商工会議所会頭

原敏成氏

「人」と企業が輝く川越へ 変革に挑む」

2022年11月に川越商工会議所の会頭に就任されました。この1年の振り返りは、執行部が新体制となり「人と企業が輝く川越へ」変革に挑むことをスローガンに掲げた。約1年が経過し、役員・議員・評議員そして会員の

「川越は商業、観光業、建設業、工業、農業」とともに県内トップクラスの実力誇る、全国でも稀

埼玉県川越市は、都心から30分圏内に位置し、古くから県南西部地域の中心都市として発展してきた。中心市街地や商店街を中心に栄える商業、市内北部・南西部に展開する工業団地により県内上位の出荷額を誇る工業、首都圏の食料供給地の役割を担う農業がバランスよく発展し、近年は多くの観光客が訪れるなど観光業への注目も高まっている。市の現状と展望を川越市長の川合善明氏、川越商工会議所会頭の原敏成氏に聞いた。

市の現状をどうみていますか。「川越まつりなどのイベントが制限なく開催できるようなった。蔵造りの町並みをはじめ、観光需要が回復傾向にあり、コロナ禍前の活気を取り戻しつつある。大変ありがたいことだ。」



川越市長

川合善明氏

「市内中小企業の優れた製品・技術を川越のまちに集約し、観光客が郊外まで足を運んでくれることも期待している。」

「25年度までの『第四次川越市総合計画』で『人がつながり、魅力があふれ、だれもが住み続けたいまち 川越』を将来都市像として描いている。総合計画に掲げた施策を推進していきたい。」

「魅力があふれ、住み続けたいまちに」

「グリーンツーリズム」について。「グリーンツーリズム拠点施設で農業体験や食体験を実施している。今年度は武蔵野の落ち葉堆肥農法が世界農業遺産に認定された。市内外の方々に広く伝える場としても利用していきたい。」

「今後のビジョンをどう描いていますか。」

「23年度に3年間の中期計画を策定し『企業の発展』『地域経済の発展』『政策提言と情報発信』など、五つのミッションを掲げた。ミッション達成のため、役員・職員、職員が丸ごと取り組んでいる。部会は業種別の組織である。業種特有の課題の解決のため、先進事例の視察、勉強会の開催など、各部会が活発に取り組んでいる。委員会は目的別の組織である。広報・情報、産業推進、組織活性化など、商工会議所の活動目的達成のため、テーマに応じた活動や意思決定を行っている。部会・委員会が一堂に会した連携会議も開催し、情報共有を行っている。今後の活動方針は、

IT活用にお困りの企業様へ。アプリ開発、クラウド化推進、業務自動化・効率化、IoTソリューション導入、AI活用、プロダクト導入支援。TAKA 049-246-5588

つなぐ。支える。事業を。地域を。日本政策金融公庫 川越支店 0570-017448

ISO/IEC 17025認定校正機関 RCL00030 計測器校正ならユウアイ電子株式会社

地域発展のエネルギー 武州ガス 武州でんき 武州ひかり 川越市田町32-12 TEL (049) 241-9000

創業70年 川越ものづくりブランドの 防爆遠赤外線乾燥機 株式会社 根岸製作所

24エリアサーカス ものづくり展示会 新報国マテリアル株式会社

高放熱コーティング加工 熱トルネード 株式会社フロロコート

劇的な寿命改善! ゴミ焼却炉火格子「EGNIS」 EGNIS (開発材) 従来材 6倍以上の寿命!

